

●L端子検出へ変更(必要な場合のみ変更)

⚠ 注意

ディーゼル車は必ずL端子検出へ変更して下さい。



車両によって車室内からL端子線を接続出来るお車もあります。詳しくは技術サービスまでお問い合わせ下さい。

⚠ 注意

接触不良がおきない様に確実に取り付けて下さい。
取付後、絶縁テープでエレクトロタップをテーピングして下さい。

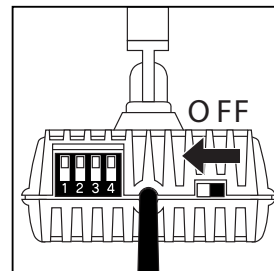
⚠ 注意

灰色線がボディの金属部分に触れると、ショートを起こし車両故障の原因になる恐れがあります。

- エンジンは始動しているのに数秒で停止してしまい、自動的に再始動(リトライ)が行われてしまう場合、L端子検出へ変更する事で、エンジン始動をより確実に行う事が出来ます。

STEP-1

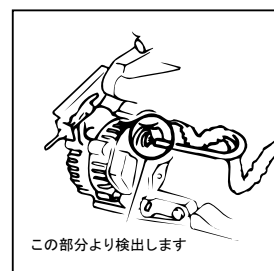
- 一旦アンテナユニットのパワースイッチを切ります。



STEP-2

- 車両のオルタネーターから出ているL端子線を探します。

L端子線とはイグニッションONでエンジンが停止している時1~3V、エンジン駆動中12~14Vになる線です。
(必ずテスターをご使用下さい。)

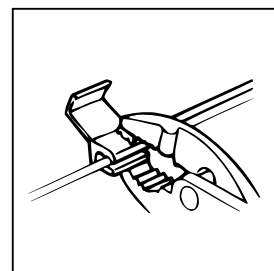


この部分より検出します

STEP-3

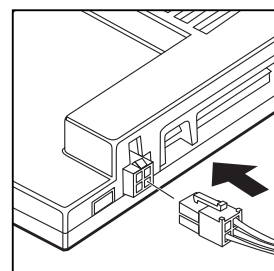
- 安全センサーケーブルの灰色線を接続します。

付属の安全センサーケーブルの灰色線を、車室内からエンジンルームに引き込み、オルタネーターから出ているL端子線に、付属のエレクトロタップで接続します。



STEP-4

- 安全センサーケーブルを本体のコネクター(CN2)に接続します。



OK

以上でL端子検出への変更は終了です。

パワースイッチをONにしてリモコンで問題なくエンジン始動出来る事を確認して下さい。

●始動検出方式の切替

⚠ 注意

必ず「L端子検出へ変更」を行ってから切り替えて下さい。

- エンジンは始動していないのにメーターパネルが点灯したままになってしまう場合は、アンテナユニットのモードスイッチのNo. 3をONにして特殊モードに設定して下さい。

